

令和4年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画/生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年1月20日

協議会名: 上里町地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
株式会社協同バス	中央ルート 北部ルート 南部ルート	利用者アンケート調査、利用者OD調査については、実施した。 高齢者へのコミュニティバスの利用促進支援事業として実施している高齢者無料パスについては、交付対象者要件の変更により、発行件数が伸びた。交付者へは、交通安全講習会への参加が必須となるため、交通安全講習会開催時にバスの利用案内を積極的に実施していく。 また、コミュニティバス車内への有料広告掲載についても始動し、広報やHPで募集をするとともに、バス停付近の商業施設へ個別訪問し掲載依頼をした。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B 事業が計画に位置付けられた目標を達成できていない点があった。 【目標】 ①年間利用者数 19,300人 ②高齢者無料パスの発行件数 83人 【実績】 ①年間利用者数 14,489人 ②高齢者無料パスの発行件数 117人 【分析】 利用者数は昨年(13,335人)よりも増加したが、新型コロナウイルス感染症拡大以前の利用者数より少なく、新型コロナウイルス感染症の影響は大きい。 高齢者無料パスについては、対象年齢の引き下げに伴い発行件数が伸びた。	高齢者無料パス交付者数は増加しているものの、利用者の増加に至っていないため、利用者ニーズに対応した「わたしの時刻表」を活用し、バス利用を積極的に促していく。 毎月、発行される広報へのバス関連記事の掲載に対する反響は大きいため、定期的にバス関連記事を掲載するよう努めていく。 駅を中心とした、まちづくりと連携し、「コンパクト・プラス・ネットワーク」の実現に向け、次期公共交通の運行形態についても検討していく。 持続可能な公共交通を実現するため、財源の確保を目的とした、コミュニティバス車内への広告掲載についても工夫していく。

地方運輸局等における
二次評価結果
(関東運輸局)

(協議会による一次評価の際は記入不要)

事業実施と地域公共交通計画／生活交通確保維持改善計画との関連について

令和5年1月20日

協議会名：	上里町地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名：	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	「どこでも、だれでも、気軽に利用できる交通サービス」をモットーに、住民意向を反映させた移動手段を確保するため、「上里町地域公共交通活性化協議会」により地域の関係者によるの合意形成を図りつつ、効果的・効率的な公共交通ネットワークを構築するための継続的な協議を行う。